令和５年度

第５次総合計画　中期戦略事業プラン　事務事業評価シート

事業名	婚活支援事業			事業番号	08-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	子ども部	髙梨　剛	青少年課	増田　啓介	

計　画　（Ｐｌａｎ）

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	2	子どもの成長をみんなで見守るまちづくり
		施策展開の方向	4	子どもや若者の成長と自立を支えるまちをつくる
		施策	8	次代を担う子ども・若者の育成支援の推進
予算事業名	婚活支援対策事業費			
事務区分〔選択〕	◉ 自治事務　○ 法定受託事務　（選択してください）→		法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成30年度　～	終了年度	－
関連法令等				
国・県の計画等			計画期間	
関連個別計画			計画期間	
実施の背景（事業を取りまく環境・市民ニーズ）	結婚・出産や家庭を持つことに対する価値観が多様化する中で、未婚化、晩婚化が急速に進行しており、国の出生動向基本調査によれば、未婚者の9割近くが結婚の希望を持っている一方で、男女ともに「適当な相手にめぐり会わない人」が多い状況にあります。			
目　的（何をどうしたいのか）	地域や団体の婚活事業への支援等、男女の出会いの場や交流の場の創出を支援するとともに、結婚に対する意識啓発のための婚活セミナーを開催します。			
主な対象（誰・何を対象に）	未婚者の男女、その親			
事業内容（手段、手法など）	・未婚者（男性）に対しての婚活応援セミナーや親御さん向けのセミナーを開催し、事業の充実を図ります。 ・男女の出会いの場や交流の場の創出などを支援するため、近隣市等の動向を見極めながら、効率的・効果的な実施方法等の検討を図ります。			

事業行程

項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
出会いの場や交流の場の創出支援	見送り	継続1回実施
婚活セミナー等の開催	見送り	継続1回実施
実施結果検証	―	検証

目　標

【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
婚活セミナー等の開催数	0回（令和2年度）	0回	2回

事業実施（Do）

事　業　実　施　　（Ｄｏ）

事業の「取組方針」 （前年度事務事業評価）	アフターコロナにおける婚活事業について、市民やNPO団体、他自治体等の連携・協力を視野に入れながら、婚活に対する意識啓発を図るとともに、民間事業者の取組や先進事例等を参考として、今後の事業のあり方を含めて検討を進めます。

実施方法 〔選択・記入〕				
	◉ すべて直接実施		○ 左記以外	
	☐ 業務委託	☐ 指定管理	委託先又は指定管理者	
	☐ 補助金		補助先	
	☐ その他		具体の内容	

実施結果	項目	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	出会いの場や交流の場の創出支援	見送り	見送り
	婚活セミナー等の開催	見送り	見送り
	実施結果検証	―	―

実施した取組の内容	
	・新型コロナウイルス感染症の影響により、出会いの場の提供やセミナー等の実施が困難であること、また、事業の在り方を見直す必要があることから、実施を見送りました。

目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度 令和3年度	年度 令和4年度
	婚活セミナー等の開催数	0回 （令和2年度）	0回	0回

コスト	年度	令和3年度　実績				令和4年度 実績			
	事業費合計(a)			0	千円			0	千円
内訳	国県支出金 ①			0	千円			0	千円
内訳	地方債　②			0	千円			0	千円
内訳	その他特財　③			0	千円			0	千円
内訳	一般財源 (a)-①-②-③			0	千円			0	千円
	国県支出金の内容								
その他特財の内容	受益者負担	○ 有　◉ 無		前回の改定時期					
その他特財の内容	その他								
人件費	正規職員	0.01	人	82	千円	0.01	人	86	千円
人件費	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円
人件費	人件費合計(b)	0.01	人	82	千円	0.01	人	86	千円
	トータルコスト (a)+(b)			82	千円			86	千円
単位当たりコスト　対象数	定義	市民			単位	市民			単位
単位当たりコスト　対象数	対象数	101,381			人	101,119			人
単位当たりコスト	総事業費／対象数	1			円	1			円

評価　（Check）へ

評　価　（Ｃｈｅｃｋ）

進捗状況 〔選択・記入〕	○ 計画どおり（A） ○ 概ね計画どおり（B） ◉ 計画どおり進捗せず（C）	C	**左記判断理由**	新型コロナウイルス感染症の影響及び事業効果の見直しに伴い、実施を見送りました。
実施水準 〔選択・記入〕	○ 他市より高い水準で実施（A） ○ 他市と同水準で実施（B） ◉ 他市より低い水準で実施（C） ○ 一律に比較できない事業	C	**他都市の事業内容等**	本事業を展開している他市町村（厚木市、三浦市）では、対面型のイベントを再開しています。
有効性 〔選択・記入〕	○ 高い（A） ◉ 普通（B） ○ 低い（C）	B	**左記判断理由**	令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響等により事業の実施を見送りましたが、過去のセミナー等参加者からは好評を得ています。
効率性 〔選択・記入〕	○ 効率的に実施されている（A） ○ 改善の余地がある（B） ◉ 抜本的な改善が必要である（C）	C	**左記判断理由**	新型コロナウイルス感染症による社会環境の変化は、未婚化・晩婚化に拍車をかける一因となっています。アフターコロナに向け、未婚者の男女及びその親を対象に、結婚に対する更なる意識啓発を図る必要があります。

取組内容の改善　（Action）へ

取組内容の改善　（Ａｃｔｉｏｎ）

所管部長による総評	未婚化や晩婚化・晩産化の進行は、全国的な問題となっており、コロナ禍で更に進んだとの報告もあることから、婚活事業の推進は、一自治体だけで実施することは難しい状況となっています。国または県による広域的な実施、ノウハウを持つ民間事業者による効果的な取組に、シフトしていくべきと考えます。